

一般社団法人朝霞地区薬剤師会

あさやくだより

第22号
2024



(一社)朝霞地区薬剤師会
発行人: 広報委員長 清水 勝子
〒351-0021朝霞市西弁財1-10-21-312号
TEL:048-483-4125 FAX:048-483-4126
asaka-ph@asakaph.or.jp

会長挨拶：2023年度総括

会長 大八木 実・あおぞら薬局

昨年6月の総会で新理事6名が承認され、2名の監事を含め役員15名で新体制をスタートさせ奔走してきたこの10カ月…。その中でも一番の衝撃は、朝霞地区薬剤師会を約30年にわたり支え育ててくださった松永仁先生の訃報でした。多くの方に慕われ、そして愛された松永先生、ここにあらためてご冥福をお祈りしたいと思います。

4市を取りまとめる薬剤師会新会長として多くの役割がある中で、まずは委員会事業をきちんと把握すべきであると考え、出来る限り各会議に出席させていただきました。そこから見えたのは、忙しい業務を終えてから資料を準備し夜の会議に出席、会員向けの情報発信や市民のための健康支援などについて、様々な意見交換をしながら一生懸命活動している委員達の姿…。ただただ頭の下がる思いでした。

そんな委員会活動についてまとめておきます。

研修委員会：コロナ渦ではWeb研修会が中心でしたが今年度から感染対策をしつつハイブリッド研修会の実施も開始、今後に向けてどのような研修会がベストかを検討しています。

地域連携委員会：フォーミュラリ部会、PBPM部会、ポリファーマシー部会、入退院支援部会の4つの部会が活動中、医師会・歯科医師会・行政などどのように連携していくかを中心に意見を交換しています。

実務実習委員会：すでに2月から新年度が始まりました。

薬局実習の学生にはどのような集合研修が望ましいか、そしてワークショップ形式で学生の意見をどのように引き出せるかを委員会、担当者会議等で話し合っています。

広報委員会：会報「あさやくだより」を年間4回発行するのは結構大変ですが、薬剤師会の活動が見えて会報がとても楽しみという会員の声に励まされているとのこと。ホームページやメールでの情報発信や、懇親会などの企画も行っています。市民フォーラム部会では久しぶりに市民フォーラムも開催、好評をいただきました。次年度も開催予定です。

災害委員会：今年度からBCP作成を再開したところで元旦に能登半島地震が発生、薬剤師会としてのBCPの完成を急いでいます。緊急連絡用オープンチャットも開始しました。皆様ぜひご参加ください。

学校薬剤師委員会：4市と契約を交わしている薬剤師会が窓口となり、昨年末に学校薬剤師を募集、新たに9名を任命しました。今後欠員が出た場合は、会員の皆様にその都度ご案内いたします。

青年部：将来、薬剤師会を担っていく若い薬剤師を育成するための青年部も3年目を迎えます。勉強会や研修会も実施、部員も募集中です。

会員の皆様には、1年間いろいろとありがとうございました。次年度もご協力のほどよろしくお願いたします。

第57回 日本薬剤師会学術大会 埼玉大会 (9月22日・23日) にご協力ください

2024年9月22日23日の2日間、第57回日本薬剤師会学術大会が、大宮ソニックシティ、パレスホテル大宮、さいたまスーパーアリーナを会場に、初めて埼玉県で開催されます。今回の学術大会では、日本中の薬剤師が「日本のほぼ真ん中」の大宮に集まって「彩 (いろどり)」あふれる薬剤師の未来をテーマに知識を共有し、学生時代ともに学んだ友人との再会を楽しみ、未来の夢を語り合う……。そんな素敵な2日間が埼玉へやってきます。

口頭発表やポスター発表の予定は立っていますか？ご自分の研究や工夫を大勢の薬剤師に知ってもらい、アドバイスやヒントをもらえるチャンスです。薬剤師会では、学術大会に参加される会員の皆さんに参加費の補助を予定しています。また、全国から参加する方々のご案内や会場での運営ボランティアを募集しています。

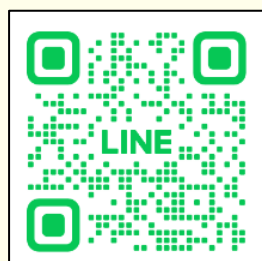
埼玉県薬剤師会では、公式SNSをはじめました。XとLINEに登録してこれからどんどん出てくる情報をフォローしてくださいね。

演題募集期間が過ぎました！3月1日(金)～5月10日(金)です。

朝霞地区からも多くの演題発表を期待しています。不明な点は、薬剤師会までお問合せください。



Xのフォロー、
LINEお友達登録
お願いします。



朝霞地区薬剤師会
令和6年度定時社員総会日程が決まりました。
2024年6月8日(土)

詳細は、後日会員の皆様にお知らせします。

お知らせ



委員会だより

地域連携委員会 活動報告

地域連携委員会は、地域フォーミュラリ部会、ポリファーマシー部会、PBPM部会、入退院支援部会の4つの部会に分かれて活発に活動を行っています。

委員会としての活動の中で会員への認知度を上げたいと話題にあがっているのが、PBPM部会の「疑義照会に関する合意書」と、入退院支援部会の「朝霞地区入退院支援の手引き」の活用及びのお薬手帳へのかかりつけ薬局の記載の件です。

枠組みとして出来上がっているものですが、まだしっかり

活用が出来ていない状況でより多くの方々に認知・運用していただければと思っております。締結されている病院との疑義照会の簡略化(手帳への記載やトレーシングレポート提出)によるお互いの業務の短縮、入退院でのかかり

つけ薬局の関与による切れ間なき患者へのサポートや担当ケアマネとの連携などは薬局業務向上にもつながると思います。

地域連携委員長 服部 秀俊・ナツメ薬局

疑義照会に関する合意書 →



新座市重複・頻回受診者重複投与者等への相談・指導事業 報告

昨年に引き続き新座市より委託を受け、地域連携委員会ポリファーマシー部会が担当させていただきました。この事業ではレセプトのデータから重複投薬、頻回受診の可能性がある方が対象となります。

今年度は対象者の抽出から部会が関わらせていただき、7名の方が該当となりました。対象の方には既往歴、内服中の薬、生活状況、主治医、かかりつけ薬局などについて直接聞き取り、重複投与、頻回受診を解消するために必要な支援を検討しました。また、今年度は志木市でも同様の事業が行われ、部会からも協力させていただきました。ご協力いただきました薬局の皆様ありがとうございました。

地域連携委員 上妻 加奈・かくの木薬局

朝霞地区医師会
地域包括支援室
入退院支援の手引き →



災害対策委員会オープンチャットのご案内

災害対策委員会ではBCP(事業継続計画)の策定作業と同時に、災害時の会員の安否確認などの通信手段について検討をしています。これまで朝霞地区ではメーリングリスト以外には連絡網のようなネットワークは構築されてこなかったため、すでにFAX連絡網の実績のある志木市で試験的にLINEの小さなオープンチャットを開設しました。

災害発生時に即座に役立てるためには、普段から情報を流しておくことが大切で、わざわざメーリングリストで共有しなくてもよいような、Facebookで数年後に振り返る必要もないような、賞味期限の短い軽い情報を日常的に流して、ネットワークを温めておくという方針をたてました。

具体的には、

- ・ローカルな情報(学級閉鎖、お店情報など)
 - ・不動産在庫
 - ・出荷調整品の対応
 - ・調剤関連のプチ情報
- などといったトピックです。

今のところ、この試験運用で問題は生じておらず、規模を拡大した方がメリットは大きいと考えられるため、このオープンチャットを朝霞地区全体で運用することにしました。

会員の皆様には、参加用QRコードを入れた別紙を送付します。

(HP会員専用ページにも掲載)

皆様、ぜひお気軽にご参加ください。

災害対策委員 田代 健・地球堂薬局



多職種グループによる患者中心の意思決定支援実践

地域包括ケアシステムとは、住み慣れた地域で自分らしく生活を続けられるよう、医療、介護、福祉サービスを相互に補完しながら、患者の日常生活を支えることです。

薬剤師の居宅在宅の仕事は医療サービスの一環としてお薬を患者様のもとにお持ちする事、お薬管理をすることですが、これだけだと地域ケアシステムとして機能しません。

人生の最終段階における医療・ケアにおいて、患者様がこれからの人生の意思決定をすることの支援が重要なのです。

意思決定方法

- 1、医師やケア提供者が妥当と思われる治療や検査の説明をして実行する一方通行の意思決定方法。
- 2、医師やケア提供者の情報を基に患者が決定し依頼する決定方法。
- 3、患者は自分の価値観を明確にし、医師やケア提供者の情報を理解、対話しながら意思決定する。情報は双方向で価値や好みに関する情報を共有。患者様中心の意思決定支援方法(ACPを利用)

ACPとは、個人の価値観、人生の目標、医療・ケアに関する選考を理解し共有するプロセスですが、患者様が「どのように

生ききりたいか」を話し合い、支えるプロセスでもあります。

薬剤師にとって在宅の仕事は患者様と関わる事が多くあります。これからの薬剤師は患者様とのコミュニケーションをしっかりとり、多職種グループ(医療、介護、福祉サービス)と連携を深め、患者様の望んでいる医療・ケアを達成する事が、重要な役割になっていくのだと思います。

副会長・和光支部長 内野 裕嗣・さつき薬局

2024年度 研修会実施予定

令和6年度調剤報酬改定と薬価改定に合わせ研修会を集合研修会方式で開催します。5月中旬頃を予定しており、詳細は朝霞地区薬剤師会のホームページ、メールでお知らせいたします。2024年度は、吸入指導初級マイスター新規取得と更新のための研修会、災害対策 地域連携、学校薬剤師等にする研修会を各委員会、部会と調整し開催を予定しています。

皆さまのご参加をお待ちしています。

研修委員長 須田 友子・須田薬局本店



2023年度新年会 2月10日 志木ベルセゾン「CAFÉ & DINING Bonheur」にて



司会の関 昌之理事と
清水 勝子常務理事



2月10日(土)、朝霞地区薬剤師会新年会が行われました。新型コロナウイルス感染症により、4年ぶりの開催となりましたが、約40名の方にご参加いただき、美味しいお食事やお酒を楽しみました。薬剤師同士、久しぶりまたは初めての方とお話をするとても良い機会となったと思います。大八木会長の挨拶から始まり、能登半島地震の災害派遣薬剤師状況報告、また今年埼玉県で開催される日薬学術大会案内のほか、清水先生企画の「景品争奪じゃんけん大会」が行われました。たくさんの景品の中から勝ち抜いた順に好きなものを選び、笑顔で写真をパチリ！最後は参加者全員で記念撮影し、とても楽しい時間を過ごすことができました。写真は元理事でプロのカメラマンKPS勝山さんが担当してくださり、楽しい雰囲気伝わってきます。皆様も次回はぜひご参加ください♪

広報委員 磯村和美
かくの木菅沢薬局

令和6年能登半島地震義援金 「日本薬剤師会へ」5万円

寄付 1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする大地震により、被災地が甚大な被害を受けていることに鑑み、被災された方々を支援するために日本薬剤師会が行っている寄付活動に本会も協力させていただきました。

日本薬剤師会からの情報提供ページ →

日薬への義援金送付は令和6年3月末まで
日本赤十字社への送付は12月27日まで



創立30周年記念祝賀会 開催決定



朝霞地区薬剤師会は、今年で設立30周年を迎えます。これもひとえに皆様のご支援、ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。その感謝の気持ちをお伝える機会として、また、今後の薬剤師会の在り方への貴重なご意見をいただく場として、下記の日程で祝賀会を企画しております。4月になりましたらご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

2024年6月29日(土) 19:00～ 志木市 ベルセゾン

おすすめの本

「マチルド・ローランの調香術」

マチルド・ローラン 著 : 関口 涼子 訳 (白水社)



薬剤師の仕事の起源は生薬・香料・染料・スパイスの物流で、これらに今日のような区別はありませんでした。そのため、ハーブとアロマは共通の素材を使い、ハーブと漢方にも通じる場所があります。そのようなわけで、調香師や香水の本をたまに読みます。

原料や製造過程関連のトピックが多い印象ですが、この本はコロナ後遺症の嗅覚障害の辛さから説き起こして、嗅覚の体験や匂いを解釈することに焦点を当てています。香水を使わない人間が読んで面白かったです。

広報委員 田代 健・地球堂薬局

「賢者の学び舎 防衛医科大学物語」

山本 亜季 著(小学館)



誰にも頼らずに医師になって自立がしたいという思いだけで、入学を決意した主人公。医師になることと幹部自衛官なることを同時に行うという、本来なら不可能なことを成し遂げなければならない中で、同期の仲間や先輩とのかかわりから、本当の自分はなぜ医師になろうと思ったのか？医官とは何なのか？を見つめなおしていく物語です。指導教授の「医師免許は、キミの人生を快適にするためのパスポートではない。」という言葉に、日々調剤に追われ忘れがちな、なぜ薬剤師になったのか、何の為にこの仕事をやっているのかを考えるきっかけを与えてくれた漫画です。

広報委員 金子 修治・ミドロの薬局

俳句を楽しむ

渡邊 みち草 (理事) 渡邊 美知子 あさか台わたなべ薬局

山々を越えて広がる春夕焼

てふてふをじっと見てゐる高尾山

蒲公英の野辺に大きな雲来たり

卒業歌袴姿の乙女らよ

春雷や研修会の三つあり

朝霞地区三師会俳句会 入会者を募集しています。

毎月第4火曜日19時半～20時半、スマイルホテル北朝霞3階会議室で定例会を行っています。会費は年間6000円～10000円。とても楽しい会です♪ぜひご参加ください。詳細・申し込みは、あさか台わたなべ薬局・渡邊まで



新年度のトリプル！

新年度を迎えるにあたって、トリプル改定の情報収集と日々の業務に追われる毎日です。

やっと情報が出揃いつつある中、自分たちの立ち位置を探っています。令和6年度は2カ月後倒しになり、少しだけ時間がある様に感じている年度末です。

仕事のトリプルは今までの経験で乗り切れると感じていますが、家庭のトリプルは上手く解決できる自信がありません。

令和6年度に家庭ではトリプル卒業が待っています。長男は高校から大学？次男の中学から高校。長女の小学校入学へと年々早まる新年度の準備でんやわんや。

長男と次男の学校での面談、進路の決定。長女のラン活。果たして妻と相談しながら円満に解決できるのかが一番心配なトリプルです。早く終わって欲しい…。

広報委員 関 昌之 ウイン調剤けやき薬局



編集後記

今年の埼玉の開花予想は3月20日くらいようです。この22号が皆様のお手元に届くころには、もう桜がき始めていることでしょうね。

3月9日・10日に日本薬剤師会の臨時総会がありました。久しぶりの会長選挙となったため、私も含め全国の代議員は緊張する二日間でした。そんな中で一番印象的だったのが、山本前会長のとてもリラックスした姿です。任期であったこの10年は医薬分業にアクセラがかった30年前とは異なり、分業の成熟が求められた期間でもありました。対物から対人にかじを切り、今後は真の医療人として国民に認知される薬剤師を目指すという道ができました。本当に重い10年間だったと思います。荷物を降ろしてスッキリ晴れ晴れとした心情は、私にもちょっとだけ理解できる気がしました。

広報委員 畑中 典子・株式会社かくの木

(一社) 朝霞地区薬剤師会 〒351-0021 朝霞市西弁財1-10-21-312 TEL : 048-483-4125 FAX : 048-483-4126

